【明治三十年五月二十二日第三種郵便物認可】　昭和十年十月十六日　磐城新聞　（水曜日）　第四千四百五十三號　（一）

夕刊　磐城新聞
十月十五日發行
定價　一ケ月金六拾錢
發行所　磐城新聞社
日曜祭日翌日休刊

投稿者として

島田忠夫

上

○茨城へ講演旅行に發つ間際に、童謠の方の門人が手紙類を屆けて呉れ、その中に『磐城新聞』九月十九日の木曜欄があつて、本欄の山田轍郎君?の一文を讀んだ

○その文中、明らかに私のことに觸れてゐるので、前記原田君が『先生何か云つておいては』と云ふので一寸走筆します

○七夕祭の豫選に入つたとて、決して名前に據つて選者諸氏が選ぶわけがない。もちろん匿名ごころか、單に番號位で、印刷した上、選者に廻すものと信ずるから、山田轍郎?のやうな心配は斷じてない。それは投稿者として、私が堅く信じてゐる所である

○のみならず、その位『磐城新聞』を信じ、選者を信じ、權威あらしめなくては今回のやうな擧も意味をなさない。それを兎や角いふのは、投稿者の一人であるらしい山田君?にしても困つたことではないかと思ふ

○たゞ、君の文章にある東京の某大家?にしても、少しく侮べつした書きぶりであり、民謠の領域では、私は素人に近い。西條八十氏の『蠟人形』の同人としての私は、童謠が主で、民謠は第一義的でない。茨城の櫻川小唄、その他二三の作はあつても、選者諸氏に選ばれることを、喜んでも決して苦になどしてゐないむしろ喜んでゐるのだ

○大家?と私を指すのは童謠なら分かる。大家でなくとも、日本の二流所まで漕ぎつけてゐるが、これは決して、私一人の力でない。平町でも『磐城新聞』の柏木哲氏『常磐毎日』の川崎小島氏、高久晩霞氏、山崎與三郎氏、市原陸郎氏、柴田德二氏等に海にも山にもたとへられぬ程の恩情を蒙つたお蔭であつて、決して夢びの間も忘れるものではない

日曜の薄暮

○△生

癌を抉つた無果花の肉塊に
齒ぐきをむき出して
せせら笑つてゐる柘榴の妖婦
透明な十月の陽射は流漣の
濁つた眼に疼い
解放の日が　逝かんとする哀愁
日曜薄暮の飲み屋で
蒼白く腐つてる
おれではなかつた

潮聲硯靜抄帳

例會席上再選

新涼　松堂

秋涼しポプラは風にひるがへる
一灯の竹叢さきて秋涼し

蜻蛉（其二）

小野務平

珠雲

清秋九月麗殘暉
發病間窗香篆飛
赤卒何來三四五
自然妙趣又忘機

北斗莊小品

秋涼し芭蕉を走る露雫れ
新涼の芝生に露のひかりけり
新涼や燈籠の灯のまたゝきに
新涼や芝生をわたる風の聲　水明
新涼や夜店のガスの灯の青く
新涼や乘り捨てゝある貸ボート

平潟行

島田忠夫

○强きあめ降りたるあとの濁り波洗ふ渚に下りて來にけり
○照るばかり海明れどもゆふ渚暑くなしおりて貝をぞ拾ふ
○洞門を切り開きたる道のべに見おぼえある碑小さくたてり
○しろじろと海より上ぐる霧は見ゆはや力なき夏枯草の花
○勿來までとほき渚をゆきめぐる童のごとも波に逃げつゝ

小山田滋小論を駁す

小野英哲

小山田氏の能動主義的短歌論　主体として富田氏が小論を書いてるが、末尾に散文に志さず終始短歌の陣營に踏み止まつて居る事は文藝的仙境を見い出した月經上りとも謂へるど、何か奥歯に物の挾まつた言ひ方をしてゐるが、由來短歌と散文とは其の發辭を異にしてるもので自ら短歌は短歌として幽遠な限野があり、散文は散文としての生命があり共に完全に分離獨立してるものである。能動主義的短歌論が散文屋の叫ぶ意見と等しいものであつても散文に志さぬは月經上りを云ふ一人合點論は成立しない。富田氏は文藝に關して非常な熱意を示してるが未だ〳〵小論の筆致から觀察して若い、もつと文藝の分野を研究して歌人は歌人であり小說家は小說家として文壇的價値あることを剳つくから氣の利いた小論を書いて欲しい

その日〳〵

○

人との交際には適度の間隔を置いてするがいゝ。あまり近よるとアラばかりが目につく

10月16日　△藤原鎌足薨去行年五十六（天智帝八）△初代尾上松助歿去年七十二（文化一二）△日露役平和克復詔勅下る（明治三八）△木村傳平醫博故阿部榮子と佛前結婚（昭和九）

小說　誰が殺したか

(148)　水谷準作　龍造寺膽畫

第三の殺人（三十二）

戸外に逃れ出た山野道代は、脚にまつはりつく和服が亂れるのも構はず電車通を横切つて、日比谷公園の中に走り込んだ。木の下闇をくゞり拔け、くゞり拔け何處までも走らうとしたがふと足を停めて傍のべんちに腰を下した。冷い氷のやうなべんちの感觸、電燈の微な光が、その蒼ざめた横顏を照してゐる。それまでの自信に張切つた表情が消えて一瞬にして憔悴し切つたとげ〳〵しい頰

背後に足音がした。彼女の肩に手がかゝる

『もし〳〵、風邪を引きますよ。外套を貸てあげませう、いかゞです』

鼻にかゝつた男の聲だ。

道代は飛上ると振向もせずに駈だした、その樣子の劇しさに闇の中から呟きが洩れる

『なアんだ、氣狂女か。桑原、桑原』

あとは、しーんと闇の沈默

道代は日比谷公園を拔けて、又電車通に出た。廣い大通を自動車の前燈だけが交錯してゐる。一台のタキシが默つて彼女の前に停つた。助手が片手を出して見せる、五十錢の意味である。彼女は物も云はずにそれへ乘つた

『どちらへ?』

返事がない。助手が不審げな聲を張上げて又訪ねた

『外濠を一回廻つてくれ!…ない?』

『へい。併し五十錢ぢやあ!』

『いゝよ、いくらでも』

妙な客だと思つただらうが、客は客、それに女だ。

道代はクッションの片隅によりかゝつて乘つた時から微動だもしない。眼をつぶつてゐるが睫毛の間から涙らしく光るものが溢れようとしてゐる

時々、大きく吐息が出る何か心中二つの大きなものが戰つてゐる樣子である

自動車は赤坂見附へ出て坦々たるアスファルトの上を、音もなく走りつゞけるすでに十二時、山手は深夜の氣勢である

四谷から市ケ谷、牛込見附を順々に突破した自動車は、速力をゆるめると

『これからどちらへ?』

とやゝ不安さうな助手の聲だ又、返事がない

『もし〳〵こゝでお降ですか』

『上野へ。不忍池のわきまで』

この客、いやに水ばかり見たがるぞ、事によつたら蛇の精かも知れない、など運轉手の方では先刻から怖毛づいてゐる。反射鏡にぼんやり浮出してゐる女の顏が妙に蒼白く死人のやうだ

併し自動車は否應なしに上野へ向て疾驅した。そして不忍池まで來ると、道代は運轉手の望むがまゝの料金を拂つて、ふら〳〵と闇の中へ消えて行つた

『おい、變だなア!』

『その五十錢玉をよくしらべて御らん。三つとも碁石か何かぢやないか?』

『いや、確にギザギザがあるよ』

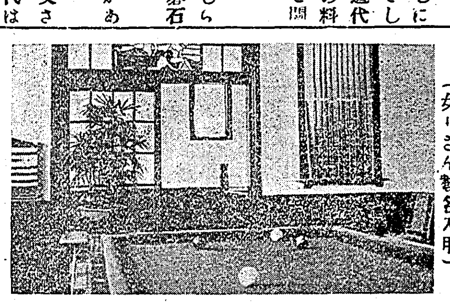
あとでこんな會話が交されたとしらない山野道代は池に沿うた道を暫く步いてやがて六つの丸い電球にキクヤホテルと書いた軒燈のともる門前に辿りついた

そこで暫くはひらうかはひるまいかとためらつてゐる樣子だつたが、やがて思ひきつた風で、つか〳〵と石疊の上を步いて行つた

『いらつしやいまし』

少女が出て來て、異樣な風態の彼女をじろ〳〵見下した

（女中さん數名入用）



清涼の小瀧へ!!!

□宿泊料　1.50　2.00　2.50
（御滯在は上記料金にて中食料を含ませます）
□日歸浴席料　.20
□自炊料　.50—.80　（入湯料・室料・夜具料一切
□料理一定食　.80　1.00　1.50
（その他一品料理・洋食）
□湯效　神經痛・リウマチス・胃腸病・痔疾　婦人病・逆上・中風・脂肪病
（內務省東京衞生試驗所檢定）
□諸設備　どうきゆう臺・高級ラヂオ・大廣間・讀書室　近代的浴場と洗面所・水洗式便所　小動物園・御子樣運動器具
□名物　川魚料理（うなぎ・鯉）蜂蜜羊かん・いちご羊かん

常磐線湯本驛下車・小瀧鑛泉
御旅館　御自炊　瀧の湯
電話（小名濱）103番

秋の流行洋品
新柄ショール豐富陳列
ソフト帽とネクタイ多數取揃
優良毛布とパンヤ枕豐富
毛編新型子供服とケープマント
ツルヤ
平四　電一四〇

高久病院
院長　高久忠
平町田町電五一三

下痢病妙藥ヲ御紹介致シマス
天下一品散
平町ネヅミ坂角
特約店　桑原商店

前田醫院
院長　前田清美
植田町電話一二四

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁
安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生
郡山腦病院
電話九二五番
院長　醫學士　金森五郎
入院隨時

洋裁講習會
一、講師　東京洋裁教育部專任（東京）武藤照子女史
一、會場　平陽女學校
一、會期　十六、十七、十八、三日間　午前九時ヨリ午後三時迄
一、講習用具　ハトロン紙＝ハサミ　メートル尺＝ノート
○洋裁の研究こそ現代女性の急務
○好季逸する勿れ　無料公開奉仕
○入會隨意＝會費無料
主催　東京シンガー教育本部　平町女子青年團
後援　平陽女學校　シンガー洋裁女學院

初秋の旅行に
素晴しい乘心地の!
三五年式流線型新車を!!!
是非御利用御用命の程を御願申します。
平二　三井タクシー
電話六八五番

石城酒造組合主催　唎酒會
（優等入選）
白馬の雪
辰の口本店　平窪村（電話平二八五番）
販賣店　平町三丁目（電五〇六番）

丹野齒科醫院
丹野淳夫
平驛前話電三八五番

國はニッポン・魚は凍魚
日本水產特約
卸小賣　平製氷會社　電二二八・三二六番
鯛　エビ　白魚　ワカサギ
銀鯛　甘鯛　芝エビ　貝燒
平目　目拔　鮭鱒　其他
ヒノマル凍魚
代理店　平四丁目　ト印魚問屋　電五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ速迅ニ致マス。

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木喜政
『入院のお需めに應ず』
（看護婦及び見習看護婦募集）
鈴木醫院
內郷村高坂磐炭病院前

冬の通學服賣出
中等生用

國防色	6號	4.00	
	7號	4.20	
黑小倉	特A6號	3.80	ヨリ
	A 6號	3.50	ヨリ
	B 6號	2.00	ヨリ
別注文	國防色	5.50	均一
	黑小倉	6.20	均一

ふかや洋服店　平三　電208

置土産の爆發的高値 七十圓台の快記錄！
終り近き四倉繭市場に活氣

躍る養蠶家

剰す處僅か五日の閉場季を控へて出廻りも激減し、相場の急轉六十四圓台に下落して今春來の驚異的高値に醉つてゐた養蠶家を憂欝にさせてゐた四倉繭市場は昨十四日に到り計らずも俄然七十圓台を突破して最後のふん張りを示しこの高値に地方養蠶家は何れも雀躍として各所にほゝえましい話題をなげてゐる

高七〇圓一〇錢 安五二圓一〇錢 馴六三圓八〇錢 出廻二一五貫

然して昨日迄の同場取引は一萬一千四百八十九貫三百二十匁、價額七萬二千二百七十二圓七十二錢、二十日迄の閉場迄には十五萬近くに上るものと觀られてゐる

大戰當時と同格、 濱相場の高騰と 品質の向上が因

この驚異的高値に關し同市場では朗かに語る

濱相場の高騰と品質の向上がこうさせたのでせう何せ景氣のよかつた歐洲大戰當時の相場とほゞ同じ位の高値です

高値に煽られ 平地方も活氣つく
六十七、八圓に上る

四倉市場の高値に躍つて平地方の値も高い——愈々終末季に入つて出廻りは減量從來平均六十三、四圓臺を持ち續けてゐたが昨日頃から俄然高六十七、八圓に高騰してこゝにも發蠶景氣が沸いた

第二自治會 勵行事項決議

平第二校兒童自治會は生徒間の自治、融和を圖り會長以下役員は何れも兒童間から選任してゐるが、昨十四日放課後役員會を開き左記の如く第二學期第二回勵行事項を決議した

社前通行時の神社禮拜 家庭、學校を問はず言葉遣の丁寧 遊路遊戯はせぬ 左側通行歌行 横隊行進大聲放歌禁止 道路公園神社境內等の清掃 退校時の買喰禁止 生徒間の挨拶 身の廻りの整頓

種牡馬檢査 けふ平町で執行

石城産馬畜産組合の今年度定期種牡馬檢査は今十五日林田縣種馬所長川原田同技師により午前中上遠野セリ場、午後平團体事務所脇廣場で行はれた、受檢頭數三十餘頭、これに合格すれば來年度の種付が出來る事になる、尙ほ八日より四日間は三森技手により三阪村方部の傳貧馬檢査を行ふ

紺屋町鋪裝計劃に 角地主が補償要求
近く圓滿に解決か

平町土木監督所では五丁目地內の國道鋪裝に次いで施行する紺屋町國道の美化を控ね既報の如く屈曲緩和のため一丁目西角市原乾物店敷地三十一坪の買收交渉に乘り出したが、價額の相違から纒らず縣係官が來平種々圓滿解決方の交渉を進めたが未だ解決を見ない 地主側ではこれが敷地賣却により現在より幾分廣い面積で改築したいので相當の補償方を云ひ張つてゐる保證に對し監督所側では現在坪數以上は出來兼ねると頑張つて居る地主側とはなるべく協調して近く小林所長から縣當局に對し話しを進め圓滿解決に至るものと觀られてゐる

平町絹類産額

平町に於ける去月中の絹織物類左の如く價額高五百八十六圓

縮緬五六反四二〇圓 羽二重五反三〇圓 生織絽及紗四反二六圓 銘仙及節織二反七圓 其他

共同連接線 加入申請受理
負擔少額で便利至大 今日から平局で開始

平郵便局では本年度において架設する共同線及び連接加入申請の受付を左記に依り取扱ふことになつた

△受付期間—今月十五日より二十一日まで

△寄附金額—(共同)五十圓(連接)四十圓

△加入登記料—(共同)十圓(連接)四圓

共同線及び連接加入は孰れも相手方及本電話加入者側に於て使用中に通話出來ぬ不便あるが使用度數の尠い向、支店及別宅等に利用せば使用料も共同線年額五十五圓、連接は同じく三十四圓といふ低額であるから極めて便利なものと考へられる、申請書は平局窓口に請求すれば交付する筈

平町に遞信診療所
局員の福利施設として 十二月一日店開き

仙臺遞信局では管內局員の福利施設として今年度豫算三萬二千圓を以て左記十二郵便局に遞信診療所を設けることになつた

長岡、福島、盛岡、青森、山形、秋田、高田、會津若松、郡山、平、米澤、鶴岡

右は十二月一日を期して一齊に開設の豫定で目下囑託醫員詮衡中だが診療所は最小限度約二十五坪差當り醫員、看護婦、事務員、車夫小使各一名づゝを配置、太陽燈も設備するがゆく〳〵はもつと擴張して科を殖やしレントゲンも備へたい意向であると、尙平局では目下これが設置場所を詮衡中だが大体南町方部になる模樣である

水難救濟資金造成 浪曲と映畫の夕
來月下旬郡下各町村で開催

帝國水難救濟會本縣支部では同會事業助成の爲資金醵集興行『浪曲と映畫の夕』を開催することになつたが開催地及び日割は左の如くである

△十一月二十一日—勿來町、植田町 △二十二日—湯本町、平町 △二十三日—小名濱町 △二十四日—四倉町

縣下武道大會 平署で選手詮衡

縣下警察官武道大會は來月九日福島武德殿で擧行されるが、平署でも劍、柔道各四名を送るべく目下詮衡中

磐炭武德殿

曾て建設中であつた磐城炭鑛金坂武德館は此程竣功、來る二十日午前八時より披露式を兼ね武道大會を催す

內郷虎眼治療講演。。。。。 內郷村並に郡教育部會では來る二十日午後一時から內郷村第三(宮)小學校に東京恩賜財團法人濟世會眼科部長醫博山崎順氏を招き兒童トラホーム治療講演會を開く。講演の外に寄島式治療法の實演ある筈で郡下各小學校衛生主任その他出席すると

第二校選手決定。。。。 平第二校では、明後十七日の磐女運動會小學女兒四百米繼走選手を左の如く決定した

鈴木光子 山野邊トミヱ 花澤綾子 根岸トキ 天野フミ

常陽銀出張所廢止

常陽銀行では合併成立後經營の合理化を圖るべく取引の狀況、區域等の點から二十七日の支店出張所を愈々來二十廢止する、郡內で廢止となつた四倉出張所の行員三氏は何れも平支店勤務となつた

鐵道殉職者慰靈。。。。 平驛では今十五日東京で行はれた鐵道殉職者慰靈祭に際し午前十時半から約三十秒に亘りサイレンを鳴らし弔意を表した

平消防自動車 喞筒操法指導

平消防組では若松消防組自動車ポンプ操法指導のため鈴木小頭の一行六名が今十五日午前六時向つた

平町水神祭。。。。 今十五日午前十時から八幡小路配水池構內で關係者列席の下に執行

投槍 投書歡迎

資金造成と民衆。。。。。。

◇軍人會や婦人會がその活動資金を造成する事は會の目的を遂行する上に於て或る程度迄必要の事である

◇世人が外の事は斷つても之れ丈けは殆ど唯々諾々として之の目的の下に行はるる各種演藝會などの前賣券を求めたりする所以である

◇處が往々今回の如く甲乙兩種の催しがカチ合ふ事がある處かどうかすると三回、四回と續く事がある五十錢宛としても四回にすると二圓の金が要ると云ふわけ

◇斯うなると各種團体の資金造成も大切だがこつちが赤字造成となるから溜らない、御趣旨は大に解つてゐるが遂不本意乍らどれかを拔く事になる

◇動機は眞に尊重すべきであるが之を一種の事業として粗茶の譏りを免れさせ樣とするには須くその時期を考慮し民衆をして之に應接のいとまあらせる事が必要だと思ふ(舊城址隱照生)

左右書きの相剋。。。。。

◇平驛頭に二つの立看板が竝んで居る。A左書右B書き、白日下に可なり露骨な相剋ではある (K生)

眞に危かつた一瞬を 堅氣に轉身の廿四名
涙ぐましい資金の貸出によつて 平紹介所に救はれた女性群

一家の窮乏を救はんがためあはや淪落の淵に沈まんとした處を平職業紹介所の就職資金の貸出しによつて輝しい人生の第一歩を踏み出した健氣な女性は同所管內で去る一月の實施以來二十四名に上つて居るが貸金は一人當り二十圓乃至百五十圓で總額千三百圓に上つてゐる

救はれた女性は何れも同所の斡旋により東京、大阪方面の堅氣な製糸女工、女中等に住込み、借受は二年間月賦で返濟してゐるが目下の處回收成績も極めてよいので四家所長も大滿悅、時折同所の溫情に感激した手紙を寄せて來るのでその都度激勵の言葉を送つて居る

親思ひの殺人未遂
五年の求刑に三年 けふ平支部で涙の判決

双葉郡上岡村上手岡石原五〇三瓶留之助方農遠藤孝助(三三)が札幌で商業に失敗故郷の父母宅に寄食中、父母につらく當る異母兄三瓶寅壽(四二)の仕打を噴り異母兄一家の鏖殺を謀り七月五日玄能を揮つて毆り付け附近民に阻げられ未遂に了つた事件は今十五日午前十時より平支部で中島裁判長係り小林、香西兩判事陪席、清田檢事關與、市井、山野邊兩辯護士立會公判開廷、懲役五年の求刑に對し辯護士から寄壽の非行と孝助の父母を思ふ性行を述べて減刑論あり結局裁判長はその動機と日頃の孝養とから掛酌懲役三年を言渡した

關係者多數か？
物情騷然たる村民間に 奇怪な風評立つ

既報—下三坂區長殺しの下手人は平署で反區長派の仕業とにらみ既報の如く容疑者四名を本署に引致、齋藤司法主任の一行は一と先づ昨夜遲く歸署柴田署長と種々打合せの上本格的取調べを行ふ事になり更に今早曉に至つて同區長が殺害された際その家の前を通り合せたと云ふ青年團員三名を重要參考人として本署に留置取調を開始した、同署の反區長派の留置は著しく事件の糾明に拍手したかの觀あり漸次解決に近づいて行く

尙昨十四日に至つた同部落內にまた〳〵『兇行の現場を見たが他言すると後の祟りが恐しい』とか『意外な人物が登場して居る』とかの新しい風評が立ち初めたので同署ではこの方面にも內偵の手を延ばした模樣で事件關係者は相當多人數に上る見込であると

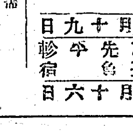
四倉に鼠賊。。。 昨十四日午後二時頃四倉町本町大丸屋雜貨店の留守宅から現金三圓二十錢入り蟇口を竊取逃走した賊あり目下四倉署で犯人嚴探中

女給生活？。。。 耶麻郡長瀬村大字八幡字圓野本田芳榮內妻野崎エネ(二六)は八日午前一時頃無斷家出して平町方面に來た形跡あるが常に女給生活等に入りたいと口走つてゐたからこの道に入つたものと本田から十五日平署に捜索願

無免許にお灸。。。 內郷村宮字町田八六石川郡泉村生れ無職滿井啓也(五二)は無免許で八年十月から九年二月に亘り同字代今野光伊長男一郎(三二)外五名を足利市伊勢崎町精麥業杉田玉藏方その他に小僧、女中等に周旋、手數料として十五圓乃至三十圓宛を受けた廉で此程平區より略式罰金百圓

十六日 (小名濱測候所調査)

日出 五、四三 日沒 五、〇二 月出後 七、五六 月沒前 一〇、〇七 滿潮前 七、二〇 後 五、三五 干潮後 〇、二〇



磐新 十月十六日 水曜 乙丑 九紫 先負 平 參宿

諸判定廣告 東京市本鄉區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 ちよとして物事進まず焦れば更にちんたいはなはだし▲二黑 思ひし程の困難も無く志望の經過調子善し▲三碧 我意を通さんとすれば手違を招きやすき日▲四綠 他よりの妨害に依り之が切拔けに苦しむ日▲五黃 平和を主とし小事とて細密に思慮を廻らせ▲六白 樂觀は悲觀を誘起する本となる警戒すべし▲七赤 健實とにんたいを旨として努むれば希望成就す▲八白 きんこん一番大に奮鬪すべき日大事をも通達す▲九紫 手違ひにも驚かず徐ろに處置を講ずれば吉

廣告

平町南町 大和田醫院 電話一七〇番

平町新川町 木村病院 電話一六四番

創業 十二週年紀念大賣出し
營業革新……大飛躍の大塚 店舗改築(鋪裝道路完成) 店內小デパート式
期間 十月二十六日マデ
素晴らしい……紀念品もれなく進呈
外に五圓以上……一割引
○大塚の靴 スマートな型 堅牢な品質 驚異的な其値段 △月星運動靴・月星ゴム長靴
○大塚の運動具 今や酣の秋のシーズン 野球競技用具各種 本年は特に力を入れて居る
各種服裝類……豊富陳列
靴と運動具の 大塚 平・田町(銀座通り) 電話七十七番

各位
弊店ネオンサイン外交員と稱し外交致し居る者有之候由に御座候へ共、右は弊店との關係一切無之候間御承知被下度御願申上候
平町二丁目 日東商會

夜間診療
胃腸性病 專門
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
(見習看護婦募集)
松村胃腸性病科醫院 (平町南町電一〇七番)

一現代的一 紫山流 盤景教授
修得短期 經費低廉
一、材料器具が安く何回でも使はれる。
一、練習二三回の初心者の作品でも直に床の間を飾るに充分である。
一、一週間一回六ヶ月で修業出來る。
一、繪畫の素養全く無き老若男女どなたにも習得出來る。
紫山流盤景師範 平町白銀町 高橋光山 電話六三八番

內臓外科一般 外科花柳病科 (入院隨意)
平町六丁目(橋際) 木村外科醫院 電話三〇九